

アナログ放送終了に向けた「レターボックス」の前倒し

《レターボックスの効果》

- アナログ放送をご覧になっていることを一層明確に意識していただくことができる
- 番組映像に重ねることなく上下の黒い部分にアナログ放送終了のお知らせ（文字スーパー）を表示することができる
- ハイビジョン制作の番組（縦横比9:16）をアナログテレビ（縦横比3:4）で表示する際にも両側の映像情報まで表示することができる

《レターボックスの実施》

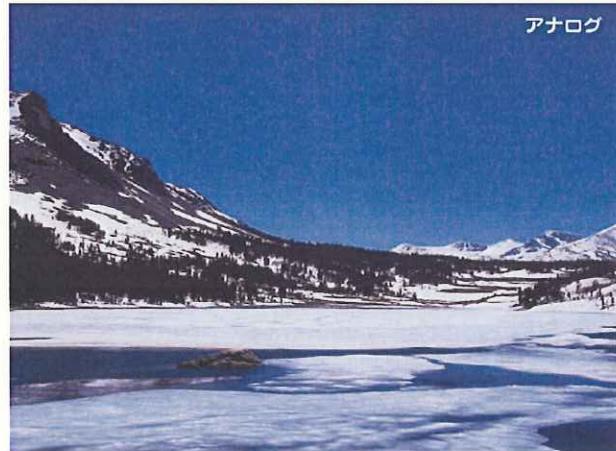
- 本年4月編成から、アナログ放送をレターボックスで表示する番組を拡充
- 本年7月5日から、アナログ放送を原則として常時レターボックスで表示
- レターボックスの上下の黒い部分に、デジタル放送移行に関する告知スーパーを随時表示（各地域の課題を踏まえて告知スーパーの内容を検討）
- 来年1月から、告知スーパーを原則として常時表示

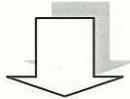
（参考）

昨年4月の「アナログ放送終了計画（改定版）」では、2011年1月から、常時「レターボックス」かつ常時「告知スーパー」を実施することとしている。

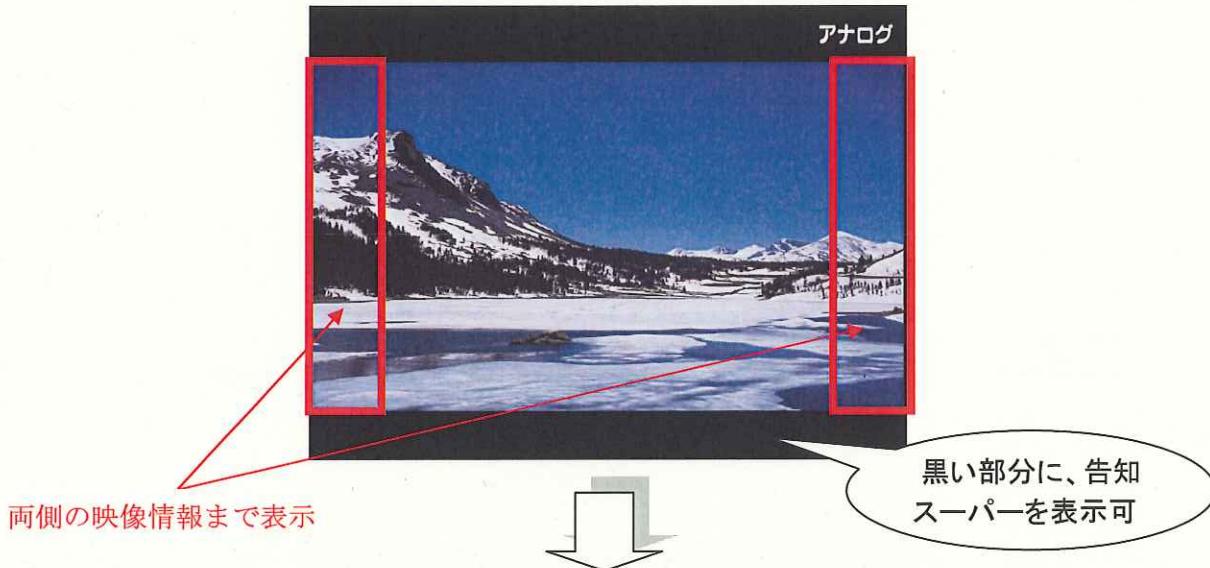
<画面のイメージ例>

画面1：ハイビジョン制作の番組をアナログテレビで見たときの従来画面





画面2：「レターボックス」による放送をアナログテレビで見たときの画面



画面3：「レターボックス」による放送をアナログテレビで見たときの画面
(告知スーパーを表示した画面)



参考画面：ハイビジョン制作の番組をデジタルテレビで見たときの画面

